

2023年度就職先アンケート結果

今年度の卒業生の就職先64施設に配布し、記載が得られた35部を集計しました。（回収率54.7%）

I-1. 対象の施設規模

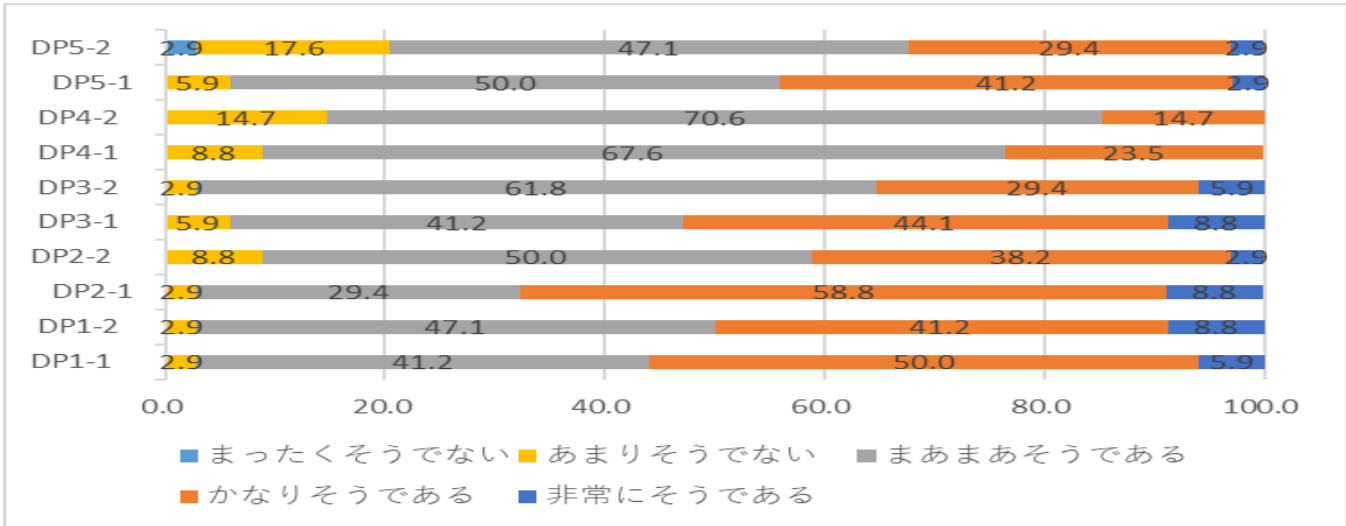
	度数	%
100床未満	1	2.9
100床～299床	2	5.7
300床～499床	12	34.3
500床以上	19	54.3
未記入	2	5.7
合計	35	100.0

I-2. 卒業生人数

	度数	%
5名未満	31	88.6
5～10名未満	2	5.7
10名以上	1	2.9
不明	1	2.9
合計	35	100.0

II. 卒業生にDPで示す力がどれだけ身に着いているかについて

n = 34



【自由記述】

1 5つの力について

1) 個人差がある。

・個人差があるので傾向として判断は難しい点がある。現在の在籍者においてはチーム活動や主体的に学習する力については身についてきている。赤十字について機会あるごとに示しているかもしれないが、把握できかねるという印象である。

2) 1年目であるため業務に慣れることが優先され、5つの力に取り組むことは難しい。

・1年目ではなかなか難しい力である。業務に慣れることが優先となり、余裕がないことが理由である。
また、出来ることも多いかもしれないが評価する側の根拠資料が乏しい。そのため、上記回答となっている。

・1年目では、この時期に習得できるとは思わない。社会人としての規律や責任を持ってチームの一員となっていくことが主に求められる。社会人として組織の一員となるには、まずどこから優先的に発揮していけばよいか、という視点も必要ではないか。

・アンケートの内容がキャリア開発ラダーの指標と類似していることもあり、レベルⅠ申請するような時期に評価できると良いように思います。

・「4-1問題解決力」「4-2問題解決力」「5-2看護の専門性を探求する力」に取り組むには、今の時点では難しい状況です。

ようやく担当患者（複数）の疾患理解や個別性にたどりついた状況なので、現在は目の前の看護を確実に実践することで精一杯の様子です。

3) 探求力や自己教育力が乏しく受け身・指示待ちである。

・主体的に行動する、学習をする、研究的取り組みを行う等個として身につけているかもしれませんが、他の同時入職者と共に受身になってしまう事が学習の成果が現れず残念に思いました。

・令和4年度の卒業生は全て受け身で責任感がありません。患者ヘタメロで話すなど人間性に課題を感じています。令和5年度は周囲と協力しようとしており、人間として尊厳を考え行動している。何を勉強して良いか分かっていないので、探求力や自己教育力は乏しいがアドバイスを受けて方向性を知ることができています。受け身・指示待ちであるが発信はできています。

4) 積極性・主体性、5つの能力が備わっている

・貴校の卒業生はモチベーションが高く、上記の能力が備わっている方が多いと評価しております。

・チームで働く力は特に優れていると思います。医師、看護師、多職種のスタッフとの協同性がよくコミュニケーション能力もあります。自分の意思をはっきり伝えることもあることは良いと思います。

・看護に対して真摯に向きあう姿勢がみられます。5つの力をしっかり教育されている結果だと思っています。

- ・全体的に対象を尊重した姿勢で向き合うことができています。

看護実践の基本となる対人関係においては、もともと苦手意識がある人が多く、コミュニケーション力の向上を期待します。主体的に他者に働きかける力が多くのことにつながっていると考えます。また学習方法についても積み重ねていく習慣を身に付けていくことを期待します。

- ・自分で学ぼうとする姿勢はみられる。チームで働く力、問題解決力はこれから身についてくるものと思う。日々業務を頑張っている。

- ・大変物事をよく考えて行動できる方だと思います。また、コミュニケーション力もよく、すぐに環境に慣れて仕事に取りくむことができています。困難な事があってもすぐに気持ちを入れかえることができてあり、非常に感心しています。何より、笑顔が気持ちよく患者さんにも好印象です。

- ・原因分析から問題解決力が高いスタッフです。
- ・看護の知識と現場の患者様を観てのアセスメントが結びつかない時がありますが、頑張っています。

【評価】

卒業生によって個人差がみられているが、チームで働く力や自己教育力、人間の尊厳と権利を擁護する力は一定の評価は得ている。1年目の看護師は業務に慣れることが優先され、看護の専門性を探求する力は評価することが難しいとの意見があった。今年度は12月に調査を行ったが、就職先からは調査時期や本学の卒業生の傾向は個人差があり難しいため方法の変更について意見もあるため、調査時期・変更について次年度検討する。

Ⅲ. DSの利用について

	度数	%
DSを活用した	4	11.4
DSを活用しなかった	30	85.7
無回答	1	2.9
合計	35	100.0

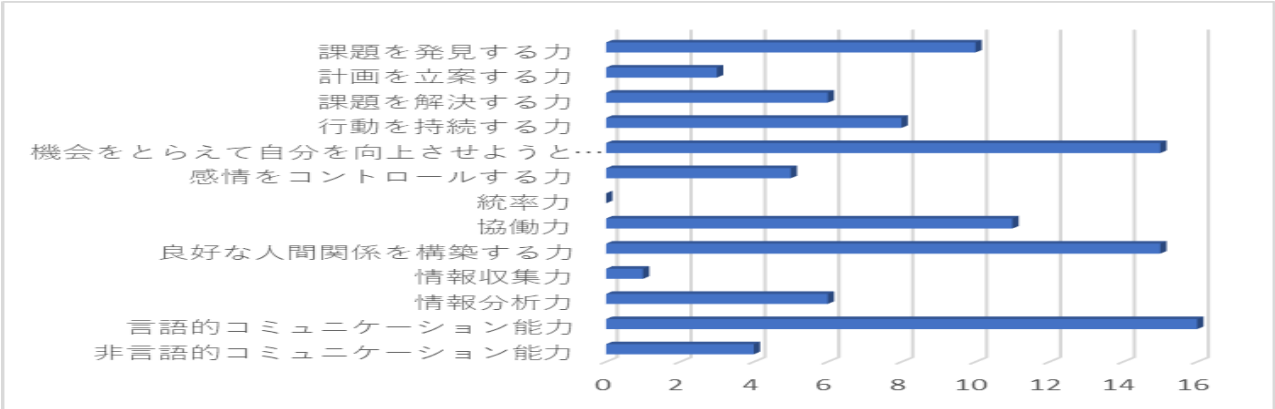
【DSを活用しなかった理由】

- ・ディプロマサプリメントの存在を知らなかった（19名）。
- ・本人から提示がなかったため（5名）。
- ・他の部署とともに教育システムやツールを活用した。
- ・卒業後にその活用について確認しましたが、認識はかなり低い状況です。看護職キャリアパス基礎スクールに関しては入職後の活用は理解していませんでした。
- ・退職

【DSを活用した理由】

- ・キャリアパススケールの調査は入社時、半年後、1年後で行っている。課題を共有し、成長支援につなげるために、同時期に教育担当師長が面談を行っている。
- ・面談の際に自分の強みや弱みを理解し意識して行動するように伝えることができています。卒後教育として連携に生かしています。
- ・自身で解決困難な場面では先輩と共有し相談しながら実践できた。

Ⅳ. 本学で強化してほしい力



n = 34

6. 本学の教育・卒業生に望むこと

1) 社会人基礎力の強化（5名）

- ・社会人基礎力を看護と共に身につけて頂けるとより良く活躍出来ると思います。
- ・社会人基礎力やセルフマネジメント、セルフコントロールなどに関する能力を身につけてきて頂きたいです。

・社会人基礎力とめげない心を養ってほしいと思います。

・貴学に限ってのことではないが、看護どうこうというより社会人としての基礎力が身につけていない新人が多いように感じる。コロナもあり実習の経験が少ないことも要因と思うが、在学中から先生方との接し方や提出物や上司とのコミュニケーションの取り方等基礎的な部分を身につけ、看護師として学ぶ姿勢等も学習してきてほしいと思いました。

・上記アンケートでは新人初期につけておいてほしい力（基礎的）だったと考えます。本人と教育側双方が良好に人間関係を築けることがその後の教育に大きく影響するからです。先生方のご尽力で真面目に頑張ることができています。有難うございます。

・他の学校の卒業生と比べて、なかなか社会人としての立ち振るまいができず、指導に時間が必要でした。学生の考え方、指示まちで自ら考えることをなかなか実践できない事がありました。ですが、今はたのもしい存在であり、日々先輩と共にがんばっています。

2) 赤十字の理念の理解 (2名)

・赤十字についての知識、関心があり研修への参加もできている。コミュニケーション技術、専門職として学んでいく姿勢、態度をしっかりと身につけていってほしい。

・赤十字の理念の理解と行動力を身につけて欲しい

3) 自己を表現する力

入職後に看護職キャリアパス基礎スケールを6月、10月、2月に確認しています。全体を通して「他者との関係性の中で自己を表現する力」が低い傾向にあります。

自身を客観的に捉える機会を考えていますが、自己表現できる力を強化していくことを望みます。コロナ禍で実習時間が少なかったことも大きく影響していると思います。看護師の役割などその専門性についてイメージが充分持てていない状況もあると感じています。実習で実際に知ってもらおうよう伝えていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

・個人差はあると思いますが、頑張っていると思います。主体的に行動できる力や発信力があれば失敗を学びに活かし、いろいろな状況の中でも看護していける能力につながると思います。

4) その他

・入職時より3年で退職し転職や海外での活動を念頭に当院に就職し、今年度で退職予定となっています。

可能であれば3年間の当院での学びを基に継続して勤務することができる看護師の就職を希望します。

・コミュニケーション（先輩との関わり）が困難な時があり、誤解があるので自分を開示してみれば良いと思いました。

・「行動を持続する力」「機会をとらえて自分を向上させようとする力」「情報分析力」の3つは、貴学卒業生の強みだと思います。看護師として成長するために重要だと思うのでさらに強化してほしいと思います。

・新人指導の支援に役立てられる（必要な）情報を事前にいただくと助かります。（例えば入職者がどの程度臨地実習ができたのか等）

・卒業生による看護学生としてでよいので、しっかり自分の看護観をもってきてほしい。患者にどのように看護を行いたいのか、そのために何ができるのか、何をしたら良いのかを考えられていない学生もいる。環境に圧倒されて看護観を見失いがちになるが、しっかりと自分でブレない看護観をもっておいで欲しいと思います。また、ストレスコントロール力も少しでも良いので身につけておいてほしいです。

・誠実性をもつ患者さまへ対応できること 自分自身の行動や言動に責任をもち、実践者としてのリフレクションが行える

・私生活の自己主張が強い印象です。よって貴校の教育というより個の特徴かもしれません。

・周囲の人に助けを求めることが苦手としている印象があります。お互い助けあうことが重要ということを理解して行動に反映されるといいなと思います。

・患者に感心を持ち、向き合うことができる覚悟を養ってほしい看護の楽しさ、やりがいについてすこしでも学生の間で経験から学び得てほしいと思います。

・看護専門職としての自覚をもつこと、創造性を大切にしていきたいと思います。

・当院に興味がある学生様がいらっしゃいましたら、インターンシップやWEB就職説明会等行っておりますので、ぜひご参加お待ちしております。貴学の教育については、貴学の方針に沿います。今後ともよろしくお願いいたします。

・毎年就職して頂き、本当にありがとうございます。私達もしっかりと教育していこうと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

【まとめ】

就職先より本学で強化してほしい力として「言語的コミュニケーション能力」が最も多く、次いで「機会をとらえて自分を向上させようとする力」、「良好な人間関係を構築する力」、「課題を発見する力」が多かった。昨年度の結果と同様だったが、就職先からは良好な人間関係を築く力やコミュニケーション能力、社会人基礎力の強化が求められている。

今年度は特に個人差があることのコメントがあり、これまでは配属先の師長間で意見をとりまとめてアンケートに回答いただいていたが、今後も実施されるのであれば卒業生毎に回答できるほうが個性も考えると良いとの助言もいただいたため、次年度複数の卒業生が入職される就職先に関しては病棟毎などに配布するなど検討が必要である。

今年度就職先にアンケートを郵送する際に卒後1年目・3年目の名簿と調査用紙と一緒に配布した。これまで同窓会からの連絡のみであったが、就職先の指導者や教育部長さんより卒業生へ手渡されることで施設の負担はある可能性は考えられるが、卒業生もアンケートに丁寧に回答していただくことができた。今後は施設に負担が無いよう考慮し、継続して今年度同様の方法で卒業生の名簿と調査用紙を配布することで、本学の教育に貴重なご意見をいただくことができると考える。また、DSについては施設側にもアンケート配布時など情報提供するなどの検討が必要である。